自由民主党千葉市議会議員団

川村ひろあき活動レポート

2018.11.07 Vol.160　　川村ひろあき事務所：千葉市花見川区花島町４８０－６

東京五輪音頭-2020-を踊りませんか!!

東京２０２０オリンピック・パラリンピック大会まで、あと２０カ月余りとなりました。

ところで「東京五輪音頭-2020-」をご存知でしょうか。これは前回の東京大会（１９６４年）の時、三波春夫さんが歌った「東京五輪音頭」を２０２０年バージョンにアレンジしたもので、石川さゆりさん、加山雄三さん、竹原ピストルさんが歌っています。この竹原ピストルさんは千葉市生まれで、生浜小、蘇我中の卒業生だそうです。

この東京五輪音頭-2020-の普及を図るべく、私が会長を務める千葉市議会オリンピック・パラリンピック推進議員連盟と市内コミュニティセンターと共催で、３月２４日から「東京五輪音頭踊り方講習会」を開催しております。現在まで１４回開催しましたが、いずれの会場にも大勢の方にご参加いただき、大変盛況でした。

第１回東京五輪音頭２０２０踊り方講習会

踊り方については、東京２０２０組織委員会のホームページやユーチューブに動画等が載っておりますが、これからも踊り方講習会を開催して参りますので、ご興味のある方は、是非、ご参加下さい。

音頭に合わせて踊る参加者ら（24日、千葉市花見川区で）＝貝塚麟太郎撮影

五輪音頭 覚えて踊ろう

千葉で振り付け講習会

2020年東京五輪・パラリンピックに向けて機運を高めようと、「東京五輪音頭－2020－」の踊り方を学ぶ講習会が24日、千葉市花見川区の畑コミュニティセンターで開かれた。

東京五輪音頭は、1964年東京大会で使われた曲をアレンジしたもの。空手やスポーツクライミングなど2020年大会の追加種目をイメージした振り付けも取り入れられている。

講習会には子供から高齢者まで約60人が参加。講師を務めた市内の民謡サークルのアドバイスで、約1時間、手で輪を作ったり体を反らせたりして踊った。同区の谷中祐也君(12)は「振り付けに意味が込められていて、踊るのが楽しかった。20年までに全部踊れるようにしたい」と笑顔だった。

３月２５日　読売新聞　朝刊

東京五輪音頭2020の振り付けを学ぶ参加者ら＝24日、美浜区の真砂コミュニティセンター

踊ろう 東京五輪音頭2020

機運盛り上げへ講習会

2020年東京五輪の開幕までちょうど2年となった24日、美浜区の真砂コミュニティセンターで「東京五輪音頭2020」の踊り方講習会が開かれた。大会機運を盛り上げようと、市議会オリンピック・パラリンピック推進議員連盟などが主催。高齢者から小学生まで約100人が講師の指導を受けながら、繰り返し振り付けを確認した。

市議連 来月も5カ所で

東京五輪音頭2020は、1964年に開催された東京五輪のテーマソング「東京五輪音頭」の曲調や歌詞を現代風にアレンジ。日本ならではの祭りと踊りで大会を盛り上げようと、大会組織委員会が普及を進めている。

この日は市レクリエーション協会の谷川とよさん(79)が講師を担当。参加者はリズムに合わせて腕を左右に振ったり、足を前に大きく踏み出したりして汗を流した。東京五輪音頭2020は間奏に新競技にちなんだ振り付けが入っており、谷川さんは「最初は難しいが、振り付けの意味を理解すれば踊りやすい」とアドバイスした。

日本舞踊「藤蓋流」の藤蓋寿女さんは弟子らと講習会に参加。「風変わった振り付けに「難しい」と感想を漏らしながら「地区の盆踊りで見本になるように」と真剣な表情だった。同級生と来場した小学3年生の北原圭芳さん(8)は「楽しかったけど、間違えたので85点。五輪はスポーツクライミングを見に行きたい」と話した。

講習会は来月も高洲コミュニティセンターなど市内5カ所で開催。同議員連盟の川村博章会長は「講習会の参加者が地区のリーダーになって、東京五輪音頭2020を広めてほしい。地域の盆踊りなどで踊っても」と期待した。

７月２５日　千葉日報　朝刊

◎東京五輪音頭-2020-の踊り方

（東京２０２０組織委員会が配布のＤＶＤ同封の踊り方資料より）

◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒２６２－００４２
千葉市花見川区花島町４８０－６

ＴＥＬ：　０４３－２５０－１０２１
ＦＡＸ：　０４３－２５０－００７１